

INTERVIEWS

—先輩メッセージ—

2002年入社
執行役員/グローバルビジネス ゼネラルマネージャー
新領域創成科学研究科先端IT理工学専攻



グローバルステージで 真のキャリアアップ

もともと大企業に入って定年までレールに乗って過ごしていくのは果たして幸せなのかと漠然と疑問に感じていました。とにかくいろいろな経験ができ、社会人としての自分の実力や価値を高められる会社を探す中で出会ったのがエリジオン。最終的にはコンサルやシンクタンクと迷いましたが、「自分達で作った製品を自分達の手で世界中に売っていく」という点に魅力を感じ入社しました。現在はグローバルビジネスグループの責任者として、ワールドワイドに世界を飛び回り、マーケットへの新規開拓や協業ビジネスの立上げなどに携わっています。ソフトウェアメーカーのほとんどは海外企業です。海外でつくられた製品が日本に入ってくるというのがこの業界の主流ですが、エリジオンはその逆をやっている。まさに「日本発世界」の仕事をしていることに喜びを感じています。

2008年入社
開発 ゼネラルマネージャー
情報理工学系研究科知能機械情報学専攻



求めていた理想郷との出会い

新人研修を終えた翌月から米国出張。会社として実績がなかった大型プロジェクトを担当することになりました。一番感じるのは、やる気とスキルがあれば重要な仕事を任せる決断をしてくれるということ。そういう風土のある会社です。開発をバリバリして自分の技術を武器に世界と戦いたい、という入社前からの理想とも合致し満足しています。また、必ずしも成長することだけが目的ではなく、早く会社に貢献して会社の仲間にも認められたいとも考えていた私にとって、ハイレベルな環境で自分の可能性を試せるエリジオンは最高の舞台です。入社前に聞いた「技術者の理想郷、完全実力主義、圧倒的な技術力」といったキーワードに代表される創業者の熱い想いが嘘ではなかったことを常日頃から体感しています。

2010年入社
開発 サブマネージャー
理学系研究科地球惑星科学専攻



数学で世界のデファクトスタンダードを目指す

就職活動をし始めた頃は、ただ漠然と「数学が業務に関係する会社に就職したい」と考えていました。ソフト開発の他、メーカーの研究所や金融も回りましたが、業務内容に興味を持てる企業が見つからず、博士課程進学も視野に入れながら細々と就職活動を続けている状態でした。そんな時、入社試験で面白い数学の問題を出題する会社があると知り、初めは興味本位で説明会に参加。しかし、説明会での製品紹介や社内見学等を通じて、研究室に近い雰囲気、社員の方々のレベルの高さなど、素晴らしい環境に魅力を感じ「ぜひとも入社したい」と思いが強くなっていきました。非常にハードな環境であるとは思いますが、やりがいのある仕事ができ満足しています。

2014年入社
マーケティング セールス
経済学部経済学科



世界の中での存在感

就職活動は当初、商社に絞って回っていたのですが、ふとしたことからエリジオンと遭遇。世界の名だたる企業をクライアントに持ち、すごいことをやっているのに極めて自然体で、地に足が着いた純粋で正直な会社という印象を受けました。私の中に「海外を相手に仕事をする」「人と関わる」という2つの軸があり、ここなら両方を満たせると確信。その第一印象は今も変わらず、自分を活かせるグローバルビジネスのステージだと感じています。入社半年で上司と同行して初の海外出張を経験し、2年目からは単独で海外へ出向くようになりました。お客様との最前線に立つ自分の責任の重さ感じながら持ち前の行動力とチャレンジ精神で立ち向かっています。エリジオン製品を世界のデファクトスタンダードにするため、まだ誰も踏み込んでいない世界のホワイトマーケットに果敢に攻め込んでいく。それがグローバルビジネスを担う私の役目だと思っています。

2015年入社
開発 エンジニア
工学系研究科社会基盤学専攻

可能性に挑戦できる 非凡な場所

日本社会全体が地盤沈下していく一方で、外国資本の下で働くことに抵抗のあった私にとって『日本発世界』を掲げるエリジオンは、とても魅力的な会社でした。海外の先進的な事例に触れながら、日本ではほとんど取り組んでいる人がいない技術的な課題に取り組むことができる環境があります。また、『技術者の理想郷』という言葉通り、仕事の進め方も合理主義的で、自社製品はもちろん、職場環境への新しい技術の導入にも積極的です。仕事はタフですが、優秀な先輩・後輩に支えられながら、自分1人では思いもよらなかった仕事ができ、その分成長できる職場です。ここでは語り尽くせませんが、小さい会社ながらも様々な仕事がありますので、皆さんの可能性を試す場として不足は無いと思います。高い能力を持った皆さんと働ける日を楽しみにしています。

2017年入社
開発 マネージャー
理学系研究科地球惑星科学専攻

止まらない好奇心とそれを 受け入れる理想郷

入社して一年くらいの頃、新規プロジェクトの担当に名乗りを上げたところ責任者を任せてもらうことになりました。普通の会社に入っていたら、入社後わずかしか経っていない、しかも入社前までソフトウェア開発はおろかプログラミングの経験もなかったような新人にこんなチャレンジはさせてもらえなかったでしょう。エリジオンは開発者の知識欲、技術欲に寛容で、手を挙げれば活躍の機会を与えてもらえる、まさに理想郷といえる会社です。私の大学院での研究はソフトウェアと全く関係のない分野でしたが、新しいことを求め、直感を信じてこの世界に足を踏み入れた、あの時の自分の選択は間違っていなかったと確信しています。優秀な仲間から刺激を受け、「やってみたい」という情熱が途切れない今の日常は、非常に充実しています。

2019年入社
開発 エンジニア
理学部物理学科

あなたの方で 新たなダイナミズムを

大学時代のある出会いに影響を受け、プログラミングを自分の職業にしたいと強く思っていました。この業界について幅広く知るために、アプリ開発のインターンへの参加、WEBサイトの自作、ITコンサルでのデータ分析など様々な業務を体験してきました。その中でエリジオンに出会い、数学的なアイデアをコードで表現するというスタイルがしっくりきて入社を決めました。入社後数年の間にもエリジオンは驚くほど進化を続けていると感じます。自分の小さなアイデアが徐々に広がって、ダイナミズムになることを実感できる。それが一番面白いところで、少数精鋭組織で働く特権だと思います。最後に、エリジオンは数学色・理系色が強い会社ですが、自分とは毛色が違うかもと思った人こそ飛び込んでみてほしいです。進化するエリジオンで、次の変化を生み出すのはあなただからです。

2019年入社
開発 エンジニア
情報理工学系研究科数理情報学専攻

別々の個性が混ざり合い 高め合える環境

私がエリジオンを初めて知ったのは就活生として合同説明会に参加したときでした。当時私はやりたいことも特に決まっていなくて、とりあえずいろいろな会社の説明を聞いていました。案内の係の方にすごい企業があると聞いていて、実際に話を聞いてみたところ世の中にはこんな仕事もあったのかと興味を持ったのを覚えています。選考が進むにつれて、自由な働き方や、優秀な社員、技術者を大切にす文化などさまざまな魅力が見えてきて入社を決めました。エリジオンの社員は一人ひとりが个性的で、形状処理技術やアルゴリズムに詳しい人もいれば最新のAI技術に詳しい人もいます。そのような環境の中で「自分もまだまだ成長できるな」と感じられることがうれしく、実際に成長するために日々業務に励んでいます。



2017年入社
開発 エンジニア
理学研究科物理学宇宙物理学専攻専攻

最善を尽くせる風土

自分の得意な分野が活かせること、自分の興味に従って日々変化できることをモットーに就きました。この信念を評価していただいた会社はエリジオンだけでした。エリジオンでは人それぞれのベストを出した成果がちゃんと受け入れられます。そして一人一人の社員がベストな成果を出せるように設備や制度、組織が用意されています。穏やかな環境ではありますが、エリジオンで働く仲間はみなアグレッシブです。みな最善を尽くすのがあたりまえで、問題解決のために分け隔てなく議論する風土があります。こうした風土で積み上げられた、世界で評価される尖った技術が社内には存在しています。この技術を自由に組み合わせて自分のアイデアを実現できることが面白いと思います。



2021年入社
開発 エンジニア
理学系研究科物理学専攻

知的好奇心を満たせる場所

自分は博士課程進学に強い魅力を感じながらも様々な理由から断念したため、振り返れば就職活動では自分の知的好奇心が満たせることにはかなり重きを置いていたように思います。現在は入社数か月の新人ながら開発責任者としてプロダクトの1つを任せられたり、意欲さえあれば何にでもチャレンジさせて貰える環境に身を置いていると感じています。相応の責任も感じますし、時には失敗もありましたが、そのたびに先輩方のアドバイスに頼らせて頂きました。単にプログラマーとしてのスキル向上に止まらず、プロジェクトのマネジメントや案件・付加価値の創出など様々な観点から日々新しい知見を学び取ることができ、優れた先輩方に囲まれたエリジオンは成長の機会に溢れています。何でも挑戦してみて、失敗してもタダでは起きないという根性がある人は、迷いなくエリジオンに来て欲しいと思います。



2018年入社
開発 エンジニア
工学部都市工学科都市計画コース

最高の成果を生み出せる 自由な環境

就職活動中、スーツを着て決められた時間に働く日々を想像して憂鬱に思うことがよくありました。しかし、エリジオンと出会って話を聞くうちに、会社のスタンスの合理性と自由さに惹かれていきました。時間の使い方・服装・上下関係などで縛られない自由な環境でこそ、最高の成果を生み出せるという考え方が自分に合うと思ったのです。その考え方は、エリジオンで働く人々の共通認識としてあると感じています。そのお陰か穏やかな性格の人ばかりで、人間関係のストレスがないことも魅力の一つです。22年間暮らしてきた東京を離れることに抵抗はありましたが、魅力的な職場環境だけでなく、快適な住環境、美味しい食べ物(特にウナギ!)。それ以上の価値が浜松に、そしてエリジオンにはありますよ。

